

# 子連れ草津温泉 2020

旅のチカラ研究所

2020年1月

旅のチカラ研究所 植木圭二

今年の正月も温泉で過ごそうと群馬県の草津に行ってきた。それだけでは旅行記に書き下ろすほどでもないが、幼い孫たちも一緒なので特別の宿を利用したのでその宿を中心に紹介する。

## ■子連れ大歓迎の宿「ゆたか」

正月を幼い孫4人を含む総勢10人で温泉に行くことになった。孫は3才の双子、生後半年の赤ちゃん2人、そんな子連れ軍団が気兼ねせずにゆっくり過ごせる宿があるのだろうか。

私は一昨年に草津温泉長期滞在旅行をした時「赤ちゃん！キッズ！大歓迎の宿 ゆたか」取材したことを思い出した。そのコンセプトが気に入り一度は孫たちを連れて来たいと思った。

今回はその絶好の機会を得たので、早速「ゆたか」を予約した。

宿に着くと、広さ40畳程の大広間に通される。ここはかつて宴会場だったようで座卓に座布団、テーブルに椅子も置かれて今は食堂になっている。舞台だった所が子供用スペースで、滑り台、小さな家、楽器、絵本、ぬいぐるみ、プラレール、ミニカー、ママゴトセット等たくさんそろっている。しかし大広間全てが子供の遊び場と化すのだろう。

長いドライブで飽きたのか、孫たちは早速大広間で遊び始める。といってもそれは3才の双子たちで、生後半年組は布団に転がされている。



子供たちの遊ぶ姿を見ながら、大人たちはお茶の時間を楽しんでいる。私はもちろんビールを飲み始めている

3才の孫がトイレに行きたいと言うので娘が連れて行き、しばらくして戻って来た。そして興奮気味に「トイレには大人用以外に子供用の便器もあるよ」と驚き感激して私たちに伝えてきた。

私は以前の取材時に見せてもらったので驚きもないが、何も聞かされないでトイレに入ったので感激したのだろう。



感激ついでにせっかくの草津温泉なので、私は娘や息子に早めの入浴を勧める。

この宿には3つの風呂があって全てが家族風呂になっており大浴場はない。源泉は人気のある湯畑源泉が引かれている。

草津温泉は昔から「泉質主義」を貫いている。どんなに熱くても強酸性の泉質を保つために決して水で薄めることをしない。その強酸性の凄さは、五寸釘を入れておいたら一週間で溶ける程で殺菌力抜群のため特に外傷に効能がある。そのため水を加えずにお湯をかき回すことで泉温を下げる「湯もみ」や、強酸・高温を活かした湯治治療「時間湯」など独特の温泉文化が生まれた。

ところが小さな子供にはこの熱い湯はとて入れない。そのためにこの宿では全ての風呂を家族風呂にして水で薄めることをいとわないようにした。

水の蛇口には「水を出したら、お風呂を出る時に必ず水を止めて下さい」と書かれている。水が止まれば豊富な温泉がかけ流されているので、すぐに湯船は温泉で満たされる。まさしく湯水の如く温泉が湧く草津温泉だからできる術である。

私は草津温泉の泉質へのこだわりを敬意を払っている。しかしこの宿に来て水で薄めた湯に浸かったが、肌触りや香りは変わらない。むしろ自分にとって適温なのでリラックスできることに気が付いた。そもそも多少の水を加えても効能はあまり変わらないのではないのだろうか。

熱い湯というと44℃くらいで、それに対して薄める水はこの時期の草津の寒さからすれば0℃に近い。従って44℃を子供でも入れる40℃に下げるには単純計算で10%の水を加えればいいことになる。

家庭の風呂に入浴剤を入れる場合に例えると、普段よりも10%くらい多く湯を張ったとしても入浴剤の効能を気にする必要はないだろう。そしてそもそも入浴剤の量は同じである。

酸性度を論ずるには pH（ペーハー）がある。この宿が引いている湯畑源泉の pH は 2.0 とかなり高い。pH は 7.0 が中性で、数値が小さくなるほど酸性度が増す。人間の胃液でさえ 3.0~4.0 なので 2.0 はいかに強酸かが分かる。

pH は常用対数なので計算すると 10%薄めても 2.0 が 2.04 にしかならない。10%の加水はもはや誤差の範囲であろう。ちなみに胃液と同じにするには 10 倍~100 倍薄めないといけない。

肌の弱い乳児、あるいは強酸の温泉が初めてで自分の子供が弱いのかどうか分からないと心配する親もいる。当然ベビーバスも用意されているが、普通の水道水を沸かした湯を張れる小さな浴槽完備の風呂もある。さすが赤ちゃん大歓迎の宿は違う。



## ■食事

この宿は素泊まりの宿で食事が付いていないから持ち込み OK になっており、そのために電子レンジやオーブンが用意されている。近くには弁当屋やコンビニ、スーパーマーケットもある。

私たちは持ち込んだおせち料理と、地元で買った食料品を大広間のテーブルの上に並べて夕食兼新年会を始める。地元のスーパーマーケットでは田舎（失礼？）ならではの舞茸の天ぷらや私が見たこともない山菜の漬物など面白いものをたくさん売っている。

私たちがそんな豪華な夕食をとっていると、「〇〇さん、いらっしゃいますか？△△屋ですが、出前持って来ました」と威勢のいい声を発しながら出前用のオカモチを持った人が大広間に入ってくる。

大広間に居る宿泊客の中から「はい！私です」と手をあげる人がいる。

そういえば、客室に備え付けてあるパンフレットには出前が取れると書いてあり、出前をしてくれるいくつかの飲食店のメニューがあった。

出前を頼んだお客が食べているラーメンとカツ丼が実に美味そうに見える。やはり隣の庭は青いものだ。私もこの次に来る時はぜひ出前を頼もうかと思いつきながら、隣のテーブルを眺めていた。

草津温泉には湯畑を中心に食事処が多く、外食には困らない。グルメを売りにしている専門店や大衆向けの食堂など、お客は自分の好みや予算に合わせて食事を選ぶことができる。そんなことから若者や外国人旅行者を中心に素泊まりや朝食のみの宿が好まれている。

#### ■お客たち

出前を取ったお客は小学生と中学生がいる家族で、どうやらこの宿の常連のようだ。年齢からすれば普通の旅館を選ぶのが当たり前だが、余程この宿の居心地がいいのだろう。

それでも私たちの孫と同じくらいの幼い子供連れが多い。そしてその子供同士から交流が始まり親同士にまで交流が広がる。

やや大きな小学生くらいの子供がその下の子供と遊んでくれて、その子もさらに幼い子と遊んでくれる。そのようにして徐々に子供社会が出来上がる様子を観察できるのは結構面白い。

お客は30代～40代前半の両親に小さな子供という年代がほとんどで、見渡したところでは私たち夫婦のような年寄りはいない。

通常の温泉宿では中高年が圧倒的に多いのだが、ここではそうではない。この珍しい光景を私はとても新鮮に感じ、温泉のパワーと子供のパワーの両方がもらえる嬉しいパワースポットを発見したようで感激する。

#### ■女将と話す

宿の女将と話し始める。女将は私よりも少し年上だが、パワースポットに毎日いるためか若々しい。

この宿は昭和初期に建てられたもので、今から10年程前に現在の子連れ専門宿にリニューアルしたという。当時の女将の息子夫婦にはやんちゃ盛りの男の子が2人いて、旅行に出かけるたびに感じていた思いをカタチにしたものだという。

その思いとは、遊んで騒ぐ小さな子供に「他のお客さんに迷惑だから静かにしなさい！」と頭から叱ることではなく子供目線で宿泊客同士が共に楽しめる空間にしたいという。気兼ねなく温泉宿を楽しむことができ、子供の成長とともに何度も足を運びたい温泉宿にしたいという。

強酸性温泉の草津ならではの苦労話も聞く。電化製品の寿命が異常に短くて1～2年しか持たないの困っているとか、お風呂も普通のコンクリートではだめで耐腐食性のものを使うので工事費用が高いとか、愚痴にも聞こえるが私にとってはこういう裏話は面白い。

#### ■草津町のニュース

宿はバスターミナルと湯畑のほぼ中間に位置し、湯畑まで歩いて1～2分と絶好のロケーションにある。湯畑に行ってみると高さ30mくらいの大きなクリスマスツリー風のもので飾ってある。

ツリーが立っている場所は数年前までは駐車場だったので昔はこの光景は考えられない。湯畑のすぐ隣という一等地に駐車場とはもったいない話だが、いろいろな人の思惑が交錯し何も手を打てなかった。それに手を付けたのが現在の町長で、ここ数年草津の町は大きく変わっている。

その町長の改革なのだろうか、半年ほど前に草津温泉伝統の時間湯の湯長の制度を廃止するというニュースが私の目に留まった。

時間湯とは湯長が時間を管理して入浴を指揮するもので、高温の泉質と相まって現代医学が見放した病が治った例も多い。そのためワラをもすがる思いで時間湯にやってくる湯治客も多い。

しかし町長は「湯長が湯治客の健康状態を把握するために行う問診が、医師法などに違反する可能性が高い」と説明する。これには関係者からは戸惑いの声も聞かれた。

湯長は草津観光公社の臨時職員なので、契約満了になる 2020 年 3 月で契約を打ち切るといふ。

その町長が同じ草津町の女性町議から訴えられるという衝撃的なニュースが最近伝わってきた。女性町議は「町長は私を抱き寄せてキスし押し倒し、抵抗しましたが・・・肉体関係に至った」とテレビカメラの前で訴えていた。この女性町議は 50 才台、町長は 70 才台というからなかなか考えにくく、何よりも町長の草津町への改革の思いを考えるとにわかには信じがたい。

これに対して町長は真っ向から否定して、名誉棄損で告訴状を提出した。

町議会もこの問題を取り上げて、ほとんどの議員は町長を支持し「破廉恥で議会の名誉を傷つけた」として懲罰動議が可決され、女性町議は議員資格を失った。

その時のニュースでは女性町議の選挙区のいざこざだと報道されていた。

以上の 2 つのニュースが何も関係ないと思っていたら、地元の人から思わぬ話を聞いた。

湯長はその立場を利用して私服を肥やして問題になって、それがかなり悪徳なので町長の判断で湯長制度を廃止しようとした。

問題は湯長にある。

そして何と、その湯長の愛人が肉体関係を告発した女性町議だということから話は全て繋がってくる。女性町議が町長失職を狙っての行動だったと、地元の人には皆知っているという。

利権と女性問題は、政治には常に付きまとう魔物だが、強酸かつ高温の草津温泉をもってしてもその魔物は退治できないのか。いや町長や町民の志が退治したようだ。

## ■旅の記録

実施は 2020 年 1 月 1 日（水）～3 日（金）の 3 日間で、行程を以下に示す。

- ・ 1 日目 9 時 30 分に神奈川県の実家を出発し圏央道に乗り、関越自動車道渋川伊香保 IC で降り、約 200km 車を走らせて草津温泉に 14 時に到着、宿にチェックイン。
- ・ 2 日目 宿で正月をのんびり過ごし、草津温泉街も散策。
- ・ 3 日目 宿を 10 時にチェックアウト、往路と逆コースを辿り途中で群馬県の親戚宅に寄る。

宿代は大人 1 人 1 泊 8100 円（正月料金、素泊まり、消費税・入湯税込み）、別途 1 泊 1 室あたり暖房費 500 円がかかり、2 泊 3 日の宿代としては大人 6 人分の合計で 100200 円を支払った。尚、小学生は半額、未就学の子供は無料になる。

その他は交通費（ガソリン代と高速料金）と持ち込みの食料やアルコール代がかかった。